

聖路加国際病院オンコロジーセンターにて
治療中の方およびそのご家族の方へ
「女性がん患者のがん治療に伴う外見変化に対する
ソーシャル・ビューティ・ケア ” Beauty Ring” の効果に
関する研究」に参加された方へ

本研究は、【審査番号：10452, 研究課題名：女性がん患者のがん治療に伴う外見変化に対するソーシャル・ビューティ・ケア ” Beauty Ring” の効果に関する研究（研究責任者：玉井奈緒）】にてご提供いただいたアンケートを二次利用させていただく研究です。

この研究の対象者に該当する可能性がある方で、研究への協力を希望されない場合は2024年1月31日までに末尾に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題】

化学療法を受けるがん患者のアピランスケアに対する思いとニーズ

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

主任研究機関	東京大学大学院医学系研究科・家族看護学分野
研究責任者	池田真理・家族看護学分野・教授
担当業務	研究計画立案・データ解析・発表・論文投稿

【共同研究機関】

主任研究機関	東京大学大学院医学系研究科・家族看護学分野
研究代表者	池田真理・教授
担当業務	共同研究機関への情報提供
研究機関	横浜市立大学医学部看護学科成人看護学領域
研究責任者	玉井奈緒・教授
機関の長	小山内いづ美（理事長）
担当業務	研究計画立案・データ解析・発表・論文投稿
研究機関	聖路加国際病院
研究責任者	逢阪美里・看護師
機関の長	石松伸一（院長）
担当業務	研究計画立案・論文指導

この研究に利用する情報は共同研究機関の範囲のみで利用されます。

【研究期間】

承認日～2025年3月31日

【対象となる方】

2014年3月1日～2015年9月30日の間に聖路加国際病院オンコロジーセンターで、「女性がん患者のがん治療に伴う外見変化に対するソーシャル・ビューティ・ケア ”Beauty Ring” の効果に関する研究(研究責任者:玉井奈緒、研究倫理審査番号10452)」に参加された方

【研究目的・意義】

がん化学療法を受ける患者さんは、多くの場合治療の副作用として、脱毛や皮膚・爪の変化などによる外見の変化を生じることがあります。外見の変化は心理的苦痛を及ぼすことが報告されており、外見変化に対してサポートをすることは、特に女性のがん患者さんの心理社会的側面に働きかけ、心理的QOLが高まることが知られています。海外では外見変化に対するケアプログラムが開発され、ケアプログラムを受けた患者さんは自尊心が高まり、社会との相互作用の阻害が少なくなり、不安が減少したと報告されています。

これら先行研究を参考に我々は2012年から聖路加国際病院で「がん患者のためのトータル・ビューティ・ケアプログラム」を実施し、がん患者さんおよびその家族のQOLへの効果を報告してきました。しかし、これまでの研究から、ソーシャル・ビューティ・ケアプログラムを受けた患者さんの具体的な思いや、アピアランスケアへ求めることについては十分明らかになっていません。

本研究の目的は、ソーシャル・ビューティ・ケアプログラムを受けた患者さんの思い、アピアランスケアへのニーズを明らかにすることです。本研究目的が達成されることで、患者さんの希望に沿ったプログラム内容のさらなる改善につなげることが可能となると考えています。

【研究の方法】

ご参加いただいた【審査番号：10452】【研究課題名：女性がん患者のがん治療に伴う外見変化に対するソーシャル・ビューティ・ケア ”Beauty Ring” の効果に関する研究(研究責任者：玉井奈緒)】にて提供いただいたアンケートの回答を利用させていただく研究です。新たに研究対象者の皆さんに新たにご負担いただくことはありません。

本研究は多機関共同研究であり、個人が特定できない状態かつパスワードをかけたデータを横浜市立大学へ電子的配信し、分析を行います。

なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

【個人情報の保護】

この研究に関わって使用される資料・情報等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

取得した資料・情報等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにします。どなたのものか分からないように加工した上で、研究責任者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

取得した資料・情報等は、横浜市立大学に送られ解析・保存されますが、送付前に氏名等の個人情報削り研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにします。どなたのものか分からないように加工した上で、横浜市立大学の研究責任者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）の情報・データ等を使用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先に 2024年1月31日までにご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌、国内及び海外の学会および学術雑誌で公表します。

取得した情報・データ等は厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。保管期間終了後には、適切な方法でパソコンやSSD内よりデータを完全に消去することで廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

尚、提供いただいた試料・情報の管理の責任者は下記の通りです。

情報の管理責任者

所属：東京大学大学院医学系研究科家族看護学教室

氏名：池田真理

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科家族看護学分野の運営費および横浜市立大学医学部看護学科成人看護学領域の基礎研究費から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2023年9月

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者：池田真理

連絡担当者：玉井奈緒

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院医学系研究科・家族看護学教室

電話：03-5841-3556

e-mail：maritakeikeda@g.ecc.u-tokyo.ac.jp